

PICK UP!!

お職員の推し本



北海道ミステリークロスマッチ 柄刀一／行舟文化

クロスマッチとは『異種格闘技戦』のこと。2019年に札幌圏内のミステリー作家有志がジャンル混合コンテストを立ちあげました。ミステリーというと、本格推理、サスペンス、警察小説と、昨今ジャンルも多彩ですが、このコンテストはミステリーであれば何でもOK！参加者が投票形式で順位を選びます。

作者は北海道人に限りませんが、作品舞台に北海道が多いのは読んでいてちょっと嬉しいところ（それが殺人の舞台であっても）。収録されているのは2022年までの受賞作で、漫画1編、小説8編です。順序など気にせずページをめくって、気になった作品からどうぞ。新しい読書体験が味わえるかも！

世界の一流は「休日」に何をしているのか

越川 慎司／クロスマedia・パブリッシング

皆さんは休日を有意義に過ごせていますか？自分はどちらかと言えば、気がつけば終わっていることも珍しくありません（笑）どのような休日を過ごせば、心身のリフレッシュを図って、仕事のパフォーマンスを高めることができるのか？この本では、世界の一流ビジネスパーソンの休日の過ごし方を例に具体的な行動を紹介しており、休日に「自己効力感」を高めることによって、平日の仕事のパフォーマンスを上げることの重要性を説いています。

こちらを読んで、「休日」の過ごし方の参考にして頂けると幸いです。



カフネ

阿部 晓子／講談社

夫との離婚に、突然の弟の死。立て続けに起るままならない出来事を受け止められず、生活や精神のバランスを崩してしまう薰子。そんな時、弟の元恋人であるせつなに会い、彼女が勤める家事代行サービスを手伝うことに。無愛想な態度からは想像もつかない、せつなの優しい手料理をきっかけに、二人の関係は温かく変化していきます。人それぞれに色々なものを抱えていても、みんな普通に生活していること。美味しいものを食べることは心身の安らぎに繋がること。そんな生活の描写が丁寧に描かれている、静かで優しい物語です。読後も余韻でじんわりと心が温くなる1冊でした。

